

研修会報告

平成 27 年 7 月 14 日
文責：生物化学分析部門長 舛甚 満

生物化学分析部門研修会

開催日時 平成 27 年 5 月 30 日（土）14:00～15:30

会場 東北大学病院 臨床小講堂

- ・講演 1 「血液ガス！血液ガスの概要および症例解説」
ラジオメーター株式会社 営業企画部 三沢 泰一 先生
- ・講演 2 「透析治療における重炭酸イオン濃度の位置づけ
～静脈血での重炭酸塩測定法とダイヤカラーCO2のご紹介～」
東洋紡株式会社 診断システム事業部 学術担当 藤本 聖人 先生

生涯教育点数 専門 20 点

参加者：会員参加者 30 名 実務委員 5 名 計 35 名

内容

血液ガスは緊急検査としての位置づけとして重要な検査項目であり、短時間に臨床上重要なデータを提供している。重要なデータであるからこそ血液ガスの各々項目のもつ意義および理解向上のスキルアップを目的としてラジオメーター社に講演を頂いた。内容は血液ガス項目の基準値の説明と数症例による血液ガスデータの見方の解説をして頂いた。これにより血液ガスの生理学として酸塩基平衡を理解できるようにまた血液ガス測定における注意点なども明解に説明して頂いた。

重炭酸は透析患者の検査で測定している項目の一つであり近年、分析装置で重炭酸測定が可能となった試薬が東洋紡社より発売となった。計算値で算出している血液ガスデータとは異なり、重炭酸を比色測定して提供出来るようになった。これにより血液ガスで特定の患者でしか測定が出来なかった検査が多数患者に対して測定が可能となり、手軽に測定できるようになってきた。東洋紡からは透析に至るまでの腎臓の機能評価に関する説明や透析に関わることの少ない検査技師へ透析の原理や透析で測定する検査項目の意義の説明をして頂いた。

全体を通して動脈血および静脈血で測定する血液ガスの意義や分析装置による重炭酸測定試薬の開発経緯など今後の臨床検査技師育成に有用な研修会であった。